

MUSCAT PHARMACY

CSR REPORT

2022

2022年1月1日～2022年12月31日



株式会社ムスカット薬局

目次
Contents

- 1 - 2 会社理念・会社概要
- 3 - 4 会社方針・SDGsへの取り組み
- 5 - 6 私たちの組織運営(組織統治)
- 7 - 8 健全な企業風土づくり(人権・労働慣行)
- 9 - 12 働きやすい職場づくり(人権・労働慣行)
- 11 - 14 かかりつけ薬剤師・かかりつけ薬局を目指して(消費者課題)
- 15 - 16 信頼される薬局を目指して(公正な事業慣行)
- 17 - 18 地球環境負荷低減のために(環境)
- 19 - 20 地域の健康を守るために(コミュニティへの参画)

CSR レポート編集方針

私たちは、経営理念のもと、目的の実現に向け、日々の事業活動を行っています。その報告書として、本CSRレポートの制作にあたり、世界のすべての団体に適用可能な社会的責任の国際規格『ISO26000』を手引きとして活用しています。そして、同規格のガイドラインに従い、右の7つの原則に則っています。私たちの活動を以下7つの中核課題に分類し、6つのカテゴリに整理し、編集しています。

7つの原則

- 説明責任
- 透明性
- 倫理的な行動
- ステークホルダーの利害の尊重
- 法の支配の尊重
- 国際行動規範の尊重
- 人権の尊重

7つの中核主題

- 組織統治
- 人権
- 労働慣行
- 環境
- 公正な事業慣行
- 消費者課題
- コミュニティへの参画

マスカット薬局CSRレポート 6つのカテゴリ

- 組織統治(私たちの組織運営)
- 人権・労働慣行(健全な企業風土づくり・働きやすい職場づくり)
- 環境(地球環境負荷低減のために)
- 公正な事業慣行(信頼される薬局を目指して)
- 消費者課題(かかりつけ薬剤師・かかりつけ薬局を目指して)
- コミュニティへの参画(地域の健康を守るために)

ご意見・ご感想をお聞かせください
マスカット薬局 CSR レポート 2022 についての
アンケートはこちらから



理念 命ある企業

私たち薬局の仕事は、地域の人々が健康になるために貢献していくことが使命であります。

健康、即ち「人間の命」を大切にしていくことを目指していく組織でなければいけません。組織を機械のように捉え、社員一人ひとりを機械の歯車として捉えるような冷たい関係ではなく、社員一人ひとりを人間の身体の細胞・臓器と捉えるような温かい血の通った関係の組織を理想とします。

私たち人間の身体には、約60兆の細胞で出来ています。その60兆の細胞は、一つひとつが違い、同じ細胞はありません。また、一つひとつの細胞があたかも自由で、意志を持っているかのように、外部から病原菌が侵入してきたら命を守るために戦うのです。もちろん、身体も各細胞に温かい血液・栄養を送り、組織を守り続けるのです。

世の中には一人として同じ人間はいません。多様な個性の人たちが企業を構成しています。そして組織を支える仕組みは、いのちを支える仕組みと全く同様であります。会社がひとつの意志をもった生命体だと言う考え方が、わが社の経営理念である「命ある企業」であります。

目的 地域の一人ひとりの生命と健康を守り、
幸せな社会を創造する

会社概要

株式会社マスカット薬局

住 所 〒701-1154 岡山県岡山市北区田益 1290-1
代 表 者 代表取締役 高橋 正志
設 立 1998年8月
資 本 金 1,000万円
売 上 高 29億円(2021年度実績)
社 員 数 92名(うち薬剤師45名)2022年12月31日現在
事業内容 薬局 / 保険調剤(各種保険取り扱い) / 一般用医薬品販売
店 舗 本店 / 日本原店 / 奈義店 / 高梁店 / 総社店 / 備前店
湊店 / 倉敷店 / 湯郷店 / 一宮店 / 庭瀬店 / 東古松店
穂浪店 / 児島店 / 久米南店



会社方針

5つの基本方針

店舗と本部の信頼関係

本部は、店舗スタッフを支える為に存在します。
この使命に対する強い自覚により本部と店舗の深い信頼関係の絆を創造します。

店舗内の信頼関係

最も大切な現場である店舗のスタッフどうしが、深い信頼関係をつくり、お客様の感動を創造します。

顧客満足

世代を超えて、未永く顧客となって頂くために、お客様の立場になりきったサービスの提供に、妥協なく取り組みます。

社員満足

社員ひとり一人が、わが社で働くことに誇りを持ち、自らの主体性を発揮して仕事に取り組む風土をつくります。

人材育成

地域社会の健康を支える薬局ビジネスを通して、私達は自己革新を果たし社会に貢献できる人材に成長します。

エンゲージメント

エンゲージメントというのは、誓い・約束という意味があります。

マスカット薬局の「エンゲージメント」は、理念・目的・方針から成り立っています。
職員は仕事でいつもこのエンゲージメントを身につけ、自分の役割・使命は何かを問い直し、振り返り、そして行動をしています。



ロゴ



この地球で私たち人間が生き続け、そして進化・発展していくためにはなくてはならないものの1つが太陽です。
マスカット薬局は、地域の皆様に、温かい光を惜しみなくサンサンと降り注ぎます。地域の健康を、太陽のように温かく見守って、地域の人たちに頼りにされ、信頼される薬局を目指していくシンボルとして、この新しいロゴを育てていきたいと思っております。

缶バッジ



わが社の理念・目的を地域の方々に伝えていく手段として全職員がこの缶バッジを胸につけて仕事をしています。
これからの企業には、地域の方々に企業の思いを伝えることが求められています。企業の思いが伝わった時、はじめて信頼関係が確立し、地域になくてはならない企業として認められ、受け入れられると考えています。

SDGsへの取り組み



SDGsとは、Sustainable Development Goalsの略称で、「**持続可能な開発目標**」のことです。

世界全体で2030年を目指して環境・経済・社会についての問題を解決し、明るい未来を作るために17のゴールと169のターゲットで構成されています。SDGsは、政府や自治体だけでなく、企業やNPO/NGO、一般市民の主体的な行動や連携によって課題を解決する事が求められています。



マスカット薬局の取り組み

私たちマスカット薬局も、岡山の地元企業として、SDGsの達成に寄与していくことを目指しています。

Think Globally, Act Locally (シンク・グローバリー、アクト・ローカリー)。

「地球規模で考え、地域の課題を見つめ、足元から行動する」『地域の一人ひとりの生命・健康を守るために』私たちは、事業を展開しています。そして、5つの基本方針に基づき、地域に根差した事業課題をSDGsと関連付け、10のテーマとして整理しました。



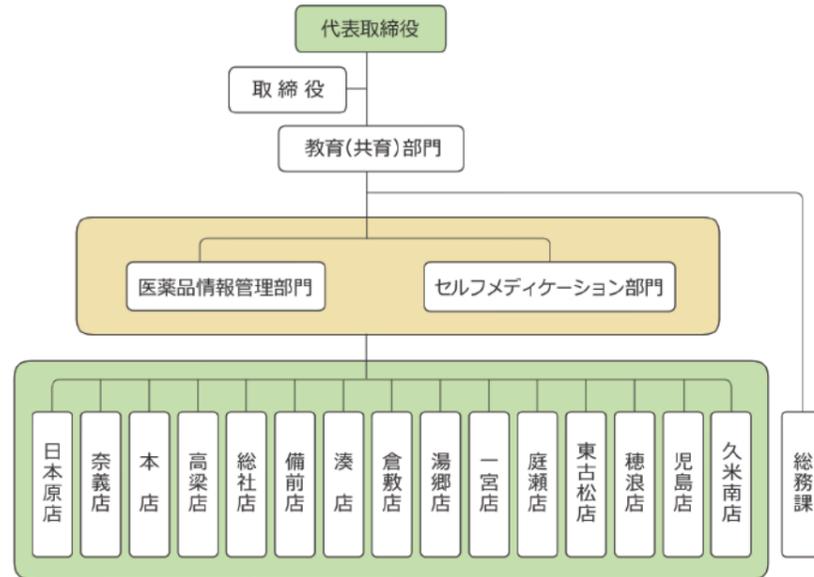
私たちの組織運営

組織統治

組織体制

社員一人ひとりが地域のお客様に対し、より質の高いサービスの提供・安心してご利用いただけるための信頼関係の構築ができるよう会社全体で支援するための組織体制を整えています。

社員教育を行う教育(共育)部門、薬学的支援を行う医薬品情報管理部門、セルフメディケーション部門、店舗運営の支援を行う総務課があります。



教育(共育)部門

理念に沿って、社員の一人ひとりが会社の貴重な財産であると考えています。そのため「人材育成」に最も重点をおき、社員一人ひとりの自主性・主体性を重んじた、あらゆる角度からの教育に取り組んでいます。



セルフメディケーション部門

地域の皆様の健康をサポートします。地域住民、一人ひとりとのふれあいの中で運動、食生活の改善を通して未病予防のアドバイスを行い、店頭での適切な医薬品販売のサポートとお客様のニーズに則した商品選択の支援をしています。



医薬品情報管理部門

医薬品や健康などに関する多くの情報を収集・整理し、健康維持や有効かつ安全な薬物療法を実施していただくため、ニーズに応じた情報を正確・迅速に提供・伝達しています。『よりそう ささえあう笑顔が広がる マスマス健康 マスマス笑顔』をモットーに!!



総務課

主に薬局の施設基準の許認可申請や各種申請用紙作成及び管理を行っています。また企業ホームページの管理・更新やCSR レポートの作成も行っています。社員が薬局業務に注力できるようサポートしています。



店舗運営

お客様の満足のために信頼されるかかりつけ薬局を目指して地域に根差した店舗運営を心がけ、岡山県下に15店舗展開しています。



健全な企業風土づくり



人権・労働慣行

■ ワークライフバランス

世の中には一人として同じ人間はいません。多様な個性の人たちが企業を構成しています。そして組織を支える仕組みは、いのちを支える仕組みと全く同様であります。会社がひとつの意志をもった生命体だと言う考え方が、わが社の経営理念である「命ある企業」であります。今年度の短時間勤務社員は9名、残業時間は1人平均月2時間でした。

【短時間勤務社員数】

	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019/2020	2021	2022
社員数	0	0	0	0	1	5	3	5	7	9

■ リフレッシュ休暇取得制度

入社後10年を経過した社員、または、管理職社員を対象として連続10日間のリフレッシュ休暇制度を設けています。日々の業務からはなれ、ゆっくりと休暇を楽しむことで、心身ともにリフレッシュし、また新たな気持ちで業務に取り組むことを目的とした制度です。今年度の利用者は0名でした。

【リフレッシュ休暇取得者数】

	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019/2020	2021	2022
社員数	1	1	1	1	0	2	2	0	0	0

■ 育児・介護休業制度

マスカット薬局では、育児・介護休業等に関する規則を整え、仕事と育児・介護の両立が出来るよう支援しています。今年度の育児休業の利用者は1名、育児休業より復帰した社員は1名でした。

【育児休業取得者数・復帰者数】

	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019/2020	2021	2022
育児休業	1	1	1	1	0	2	6	3	2	1
復帰者	0	1	1	1	0	4	5	3	2	1

■ 障がい者雇用

障がいを持った方々がいきいきと働ける職場環境を整備しており、業務に従事しています。

■ 再雇用制度

60歳定年者に対しては、定年の半年前に事前に再雇用に関する説明を行います。雇用保険の手続き、年金の請求、退職金など様々な説明を行い、ライフプランの一助としています。今年度の再雇用勤務者は8名でした。

【再雇用勤務者数】

	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019/2020	2021	2022
社員数	0	0	1	2	2	3	3	8	8	8

■ 女性社員の活躍推進

マスカット薬局では、管理職（管理薬剤師以上の役職）になるためには、性別によらない客観的な判断を基準としています。管理薬剤師の条件として、薬に関する知識はもちろんの事、薬事関連法規の知識と理解、レセプトや医療保険についての知識、また、薬局運営の管理能力と高いコミュニケーション能力を必須としています。現在、1名の女性管理職者がいます。管理職数の5%に当たります。

【女性管理職者数】

	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019/2020	2021	2022
社員数	3	5	4	4	5	5	5	4	1	1

■ ハラスメント防止

パワーハラスメント、セクシャルハラスメント等職場のハラスメントは職場環境の悪化となり、大変なダメージに繋がります。ハラスメントに関する学習会を開催し、明るい職場づくりに努めています。今年度は、社外研修への参加者はいませんでした。

【ハラスメント研修参加者数】

	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019/2020	2021	2022
社員数	0	0	0	0	2	2	2	2	0	0

■ トップとの定期的面談

社員一人ひとりと、代表取締役、教育部門長の二人とで、個人面談を毎年4～5月に行っています。面談では、理念・目的・方針や個人目標を中心に、振り返りシートにより1年間を振り返りながら成長度をお互いに確認します。その結果をふまえて、社員一人ひとりの希望を聞きながら、次年度の目標を考え、働きやすい職場環境づくりを行っています。

■ 定着率・離職率

私たちマスカット薬局は「命ある企業」を理念としています。また、5つの基本方針として、本部と店舗、店舗内の信頼関係に重きを置き、信頼関係があるからこそより良い薬局サービスを提供できると考えています。今年度の離職率は14.4%でした。

働きやすい職場づくり



人権・労働慣行

家庭医療専門薬剤師レジデンシー制度

レジデンシー制度では第一線で活躍されている家庭医の下で、外来患者の予診・診療見学および訪問診療同行等を通し、家庭医療を実践的に学んでいます。

家庭医療では、「傾聴」を大切にします。“腹痛”という症状ひとつとっても、職場や学校での人間関係が関係していたり、ご家族や親しい知人との死別が関係していたりと、さまざまな背景因子が関与していることがあります。しかしながら、医療者が患者に心を寄せ、聴く姿勢を持たなければ、それらを見逃してしまいます。そこで当薬局では、この「傾聴」の姿勢を重視した対応を心掛けており、患者さん一人ひとりに寄り添った医療を提供できる薬剤師を目指しています。



YouTube



【マスカット薬局】家庭医療専門薬剤師レジデント制度

https://www.youtube.com/watch?v=SLvNSBJHKQ&ab_channel=%E3%83%9E%E3%82%B9%E3%82%AB%E3%83%83%E3%83%88%E8%96%AC%E5%B1%80



医薬品情報管理室の情報発信



■ 医薬品情報管理室

行政・病院・薬剤師会・製薬会社・地域などに関連する、最新の医薬品や健康食品、健康などに関する情報を、薬局薬剤師の目線で収集・整理し、データベース化。また、各店舗にそれらを配信するとともに、全社員が必要な情報を利用できるよう、医薬品情報管理室のサイトの充実を図っています。

第13回イノベーション発表会

2022年7月24日に第13回イノベーション発表会を開催しました。

3年ぶりに全社員が集まったの開催となりました。今回は、「日本薬剤師会学術大会」「日本医療薬学会」「日本プライマリ・ケア連合学会」「認知症学会」など、様々な学会の発表予定者の報告会も開催しました。



表彰制度

諸々の活動を通じて会社に貢献し並びに成長した社員を、毎年行われるイノベーション発表会後の授賞式で表彰します。今年度は、7名と2店舗が受賞されました。

コントリビューションアワード

優れた業績と創意工夫にあふれる活動により成果をあげ、自分自身の研鑽に努め、会社の発展に貢献

マスカットアワード

会社の理念に基づき業績をあげ、理念の実現に貢献

チャレンジアワード

新規分野や新しいことに積極的に取り組み、会社の発展に貢献

グッド・ジョブアワード

担当業務に特に功績をあげ、会社の発展に貢献

YouTube

イノベーション発表会・授賞式の様子はYouTubeで公開しています。

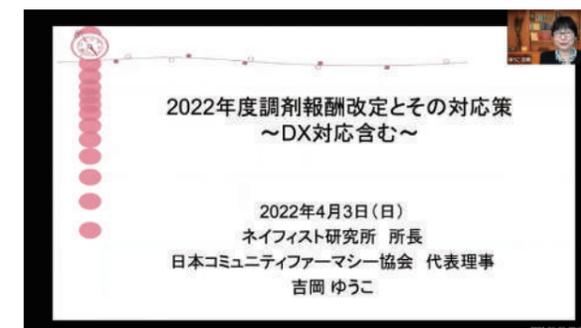


【マスカット薬局】第13回イノベーション発表会

https://www.youtube.com/watch?v=UZD3VBTAErE&ab_channel=%E3%83%9E%E3%82%B9%E3%82%AB%E3%83%83%E3%83%88%E8%96%AC%E5%B1%80



社内研修会



2022年の調剤報酬改定に合わせて、調剤報酬研修会をWEBで開催しました。

日本コミュニティファーマシー協会代表理事の吉岡ゆうこ先生に「2022年度調剤報酬改定とその対応策~DX対応含む~」と題して講演いただきました。

人材育成支援制度

■ 学会参加・発表支援・論文執筆支援

マスカット薬局では、生涯学習の一環として学会発表を行っています。社員が業務で得た成果を発表するためには、日々の業務において目的意識をもって取り組む必要があります。医薬品情報管理室の薬剤師が中心となって指導を行い、学会参加や発表の経験がない社員も学会発表や論文執筆を行っています。

■ 大学院博士課程支援

薬剤師が大学院に行く目的は、専攻分野について、研究者として研究活動を行い、また、専門的な業務に従事するために必要な研究能力およびその基礎となる豊かな学識を養うことです。会社は社業と両立しながら安心して学べるよう支援しています。

大学院生は、研究により、医療の質向上に貢献できるよう努力しています。

各種認定薬剤師人数

・日本医療薬学会 医療薬学専門薬剤師	1名	・JPALS レベル6	4名
・日本医療薬学会 地域薬学ケア専門薬剤師	2名	・JPALS レベル5	15名
・日本プライマリ・ケア認定薬剤師	4名	・日本認知症予防学会 認知症予防専門士	1名
・日本薬剤師研修センター認定薬剤師	24名	・日本薬局学会 認知症研修認定薬剤師	1名

論文発表

Acta Med. Okayama Vol. 76, No. 3(307-315),2022

- Factors Associated with Work Efficiency in Home Health Care by Pharmacists
Satoshi Sugiura, Yoshihisa Kitamura, Yasuhisa Izushi, Soichiro Ushio, and Toshiaki Sendo

BPB Reports Vol. 5, No. 3(70-73),2022

- The Cases on the Application of Touch Panel Type Screening Check for Early Detection of Dementia Conducted at a Community Pharmacy Near a Community Medical Hospital to an Advanced Treatment Hospital
Hiroschi Akura, Mamiko Kai, Yoshio Soda, Takafumi Nakano, Toshinobu Hayashi, Hitoshi Iida, Koji Ogomori, Hiroaki Kawasaki, Masanobu Sonoda, Masashi Takahashi, Takashi Egawa

学会発表

第15回 日本緩和医療薬学会 2022年5月13日～15日 熊本

- がん終末期患者の在宅移行期における訪問医と薬局薬剤師のミーティングに関する検討
杉浦聡、高橋正志

第13回 日本プライマリ・ケア連合学会学術大会 2022年6月10日～12日 横浜

- 元引きこもりニートだけど質問ある？
田中綾、松下明、安倉央、川上茂利、懸山啓太、國富達也、守安洋子、高橋正志

第32回 日本医療薬学会年会 2022年9月23日～9月25日 高崎

- 潰瘍性大腸炎患者に対する地域薬局での栄養指導の介入
高見陽一郎、岩倉沙耶、金本拓始、神垣真理子、松尾陽子、松本享平、安倉央、高橋正志

第55回 日本薬剤師会学術大会 2022年10月9日～10日 仙台

- 臨床検査値と服薬後のフォローアップをきっかけに提供した服薬情報提供書の調査分析
石尾みほ、河田英之、今城慶子、小野眞代、佐々木美佳、八塚留理子、三牧由依、安倉央、高橋正志
- 多疾患併存患者に対し患者コンコーダンス改善に繋がった1症例
小野眞代、河田英之、今城慶子、八塚留理子、石尾みほ、佐々木美佳、三牧由依、安倉央、高橋正志
- 新型コロナウイルス流行下におけるフレイル予防を目的とした薬剤師による地域活動報告
今城慶子、小野眞代、河田英之、石尾みほ、高橋絵梨香、八塚留理子、安倉央、高橋正志
- パーキンソン病患者の治療満足度向上を目的に行った WOQ-9 の実施と処方医への情報提供の結果、治療満足度向上に繋がった1症例
安倉央、河田英之、小野眞代、石尾みほ、今城慶子、八塚留理子、佐々木美佳、高橋絵梨香、高橋正志

第61回 日本薬学会・日本薬剤師会・日本病院薬剤師会中国四国支部学術大会

2022年11月5日～11月6日 広島

- 保険薬局における短時間型症例共有会の取り組み
金本拓始、高見陽一郎、松本享平、神垣真理子、松尾陽子、平田まゆら、岡泰子、安倉央、高橋正志
- かかりつけ薬局での相談事例をもとに考える「認知症」と「せん妄」について
安倉央

かかりつけ薬剤師・ かかりつけ薬局を目指して



消費者課題

セルフメディケーションへの取り組み

セルフメディケーションとは、「自分自身の健康に責任を持ち、軽度な身体の不調は自分で手当てすること」と世界保健機関（WHO）は定義しています。そのために、薬局は国民のセルフメディケーションの担い手として大きな責任を負っています。

私たちマスカット薬局では、薬のプロとして薬剤師と登録販売者が店頭で要指導医薬品やOTC医薬品（一般用医薬品）・健康食品や衛生材料などの商品を販売しています。

お客様に適切なアドバイスができるよう定期的に社員の研修会を実施しています。また、店頭での健康相談や、地域の方を招いて健康教室を開催するなど、地域の皆様の健康を守るお手伝いをおこなっています。



各種測定コーナー

私たちマスカット薬局では、地域の方々が健康についてセルフチェックが出来るようにとの思いで、無料で利用できる測定機器を全店に設置しています。血圧計をはじめ、骨密度測定器、体組成計、物忘れ相談プログラム等、地域性を考慮して設置しています。



在宅医療

薬局が行う在宅医療とは、通院が困難な患者さんを対象として、医師の指示のもと、薬剤師が患者さんのご自宅や介護施設などへ訪問し、お薬をお渡ししたり、お薬の管理をする医療サービスです。マスカット薬局では現在13店舗で取り組んでいます。



class A Lifeの定期発行



私たちマスカット薬局も加盟するclassAが毎月発行している健康情報誌『Life』をご来局いただいたみなさまに無料で配布させていただいています。

『Life』は、季節に合ったヘルスケア特集を中心に、身近な疾患のことや、薬局・薬剤師などの役割について掲載されており、患者さんの健康をサポートする健康情報紙です。

classAとは
株式会社クラスAネットワークが運営する薬局の活動を支援する団体です。全国で5,700の薬局が加盟しています。

顧客満足度調査

お客様に店頭で配布している健康情報誌 Life を利用してお客様アンケートを行っています。このアンケートは、薬局には匿名情報としてclassA様より提供されています。お寄せいただいた貴重なご意見・ご要望はサービスの改善・向上に活用させていただいています。

個人情報保護

私たちマスカット薬局は、「個人情報の保護に関する法律」（以下、「個人情報保護法」）および「医療・介護関係事業者における個人情報の適切な取扱いのためのガイドライン」（厚生労働省策定）を遵守し、良質な薬局サービスを提供するために、皆様の個人情報を適切かつ万全の体制で取り扱っています。

信頼される薬局を目指して



公正な事業慣行



取引先との透明化

私たちマスカット薬局では、様々なメーカーから販売されているジェネリック医薬品の採用に際し、1成分1銘柄を基本としています。医療用医薬品の選定に際しては、納入価格ではなく、製品特性などの医薬品情報や安定供給が可能な商品であるかなどを総合的に判断し、患者さんにとっての最善を一番に考え、医薬品情報管理室が商品を選定しています。

独立性の確保

私たちマスカット薬局では、保険医療機関及び保険医療養担当規則の一部改正等に伴う実施上の留意事項について」(平成8年3月8日、保険発第22号)にのっとり、他の保険医・保健医療機関との「一体的な構造」又は「一体的な経営」は行っていません。保険医又は保険医療機関に対して、患者さんに特定の保険薬局において調剤を受けるべき旨の指示等を行うことの代償として、金銭、物品、便益、労務、饗応、患者一部負担金の減免等の供与を行っていません。

適正な保険請求

私たちマスカット薬局は保険薬局であり、勤務する薬剤師は全て厚生労働大臣の登録を受けた保険薬剤師です。健康保険法等の各種関係法令に則り、薬学的に妥当適切な調剤と患者指導を行っています。また、請求についても調剤報酬点数表に定められた算定要件を満たした上で適正な保険請求を行っています。

公正な商品取引

薬局で主に取り扱う商品である医薬品は、病気の治療や予防の為に用いられ、使用者の生命にかかわります。マスカット薬局では、品質保証はもちろん流通経路に関しても、信頼のおける正規の医薬品卸売販売業社からのみ仕入・購入を行っています。

有資格者による接客

マスカット薬局には、薬剤師をはじめ、登録販売者・管理栄養士・健康運動指導士などの多くの有資格者が在籍しています。薬剤師は、医療保険制度に基づく調剤・投薬を行い、登録販売者とともに、一般用医薬品の販売・相談も行っています。管理栄養士は、栄養・食事に関する相談・指導を行っています。健康運動指導士は、健康水準を保持・増進する目的で運動教室を行うなど、それぞれの専門領域を通じ地域の方の健康増進に取り組んでいます。



晴れやかネットへの参加

「晴れやかネット」は、岡山県内の医療機関や薬局などが患者さんの同意のもと医療情報を共有する仕組みです。このシステムにより、患者さんの医療機関での検査値や病名などの診療情報を薬局でも閲覧することができます。医療の質や安全性の向上に活用しています。

晴れやかネット WEB サイト
URL : <https://hareyakanet.jp/>



地球環境負荷低減のために



環境

エコアクション21

地球規模での温暖化をはじめ、異常気象の増加など地球の環境悪化が叫ばれています。このような時代の中、マスカット薬局も地域社会の一員として持続可能な社会の実現のため、地球環境保護活動に取り組む必要があります。環境保護活動を通じ、社員が地球環境に関心を持ち、自分のコトとして受け止められ、また、一個人としても、家族を含め環境活動に取り組む人間に育ってくれたらと考えています。

2019年6月に、マスカット薬局は環境省が策定したエコアクション21の認証を取得しました。今年度も継続して環境保全活動に取り組んでいます。



認証・登録番号 0012811

2021年7月～2022年6月期間の実績

項目	年度	基準 2020年7月～ 2021年6月	2021年度における実績 2021年7月～2022年6月			
			目標	実績	達成度	
1	二酸化炭素排出量削減	kg-CO ₂	130,470	129,165	132,467	98%
		対基準	-	△1%	+2%	-
	電力使用量削減	kWh	272,605	269,879	277,783	97%
		kg-CO ₂	120,529	119,324	120,718	99%
	対基準	-	△1%	+2%	-	
		ガソリン使用量削減	L	4,215	4,173	4,364
kg-CO ₂	10,205		10,103	10,133	-	
対基準	-	△1%	+4%	-		
	2 廃棄物 排出量	一般廃棄物削減	kg	11,049	10,938.8	10,845
対基準			-	△1%	△2%	-
産業廃棄物削減		kg	624.5	618.3	773.2	80%
		対基準	-	△1%	+24%	-
3 水使用量	水使用量削減	m ³	985.0	975.2	981.0	99%
		対基準	-	△1%	△0%	-
4 本来業務	エコバッグ販売増加	枚	277	279.8	172	61%
		対基準	-	+1%	△38%	-
	レジ袋販売削減	枚	16,856	16,687.4	15,740.0	106%
		対基準	-	+1%	△38%	-

注1) 二酸化炭素排出量は、他に微量の都市ガス・LPGがあるが表からは除く。
 注2) 電力の二酸化炭素排出係数は、A社2019年度調整値の0.585kg-CO₂/kWh、B社2019年度調整値の0.429kg-CO₂/kWh、C社2019年度調整値の0.470kg-CO₂/kWhを使用。
 注3) 化学物質については当社では使用・排出がありません。
 注4) 産業廃棄物に特別管理産業廃棄物を含む。

具体的な取り組み

■ レジ袋有料のお知らせ



2020年7月からのレジ袋有料化に伴い、マスカット薬局ではレジ袋を1枚10円で販売しています。レジ袋の売り上げは、全額環境保護団体・社会貢献活動に寄付を行っています。2022年7月には、KOTOMO 基金（ことも基金）に157,360円を寄付いたしました。

■ 自然エネルギーの利用



2015年9月より薬局屋上に太陽光パネルを設置し、自然エネルギーを利用した発電をおこなっています。自然環境にやさしい「再生可能エネルギー」の利用を行っています。

■ エコバッグの販売



ビニール袋の使用削減のため、エコバッグを販売しています。マスカット薬局オリジナルのエコバッグをはじめ、就業継続支援事業所作成の英字新聞エコバッグも販売しています。



■ グリーンカーテンの設置



本店・倉敷店・湯郷店・東古松店では、朝顔や夕顔、ゴーヤ等を栽培してグリーンカーテンを作成しています。真夏の太陽光を遮断し室内の温度上昇を抑えています。

地域の健康を守るために



コミュニティへの参画

栄養相談・栄養指導

薬局では、薬や治療についての相談だけでなく、普段の生活の中での注意点や心がけについても多くの相談が寄せられます。

特に多いのが、「血糖値が高いと言われたけど何を食べたらよいかわからない」、「塩分を控えるように言われたけど何を食べたらいいの?」、「医者から痩せるように言われているけどどうしたらいいの?」など、毎日の食事についての相談です。



これらに対してマスカット薬局では、食事・栄養の専門家である管理栄養士が応える体制を整えています。お客様の相談や要望に合わせて管理栄養士が短期的・中長期的に関わり、薬剤師とも連携をとりながら対応することで、みなさまの毎日の食事や栄養に対する不安を払拭できるよう努めています。

学校薬剤師



学校薬剤師は、地域の幼稚園、小学校、中学校をはじめとする各学校に一人ずつおり、担当校の先生方とともに環境衛生維持に努めています。

また、「おくすりの正しい使い方」や「喫煙・薬物乱用」、「ドーピング」についてきちんと理解し、健康な心と体を育み、将来の「夢」に向かって進んでほしいという願いから各種講演活動を行っています。

認知症カフェ

マスカット薬局高梁店では、認知症カフェを開催しています。薬剤師や管理栄養士、健康運動指導士、また外部の専門講師によるお話やイベントを行い、認知症の悩みや健康についての相談にも応じています。



健康教室

地域のふれあいサロンをはじめ、老人会や介護施設、医療施設などから依頼を受けて、公民館や集会所などに向き、講演や健康にまつわるイベントを開催しています。

また、薬局内でも健康情報発信の場として、健康教室を行っています。

